# 仕様・外形寸法図

## ■ 定格

### ● パワーアンプ部

定格出力 .....50W（EIAJ 100Hz 4 Ω）
ライン入力感度 .....220mV
再生周波数特性.....38Hz～170Hz

### ● スピーカー部

エンクロージャー .....バスレフ型
スピーカーユニット.....16cm コーンタイプ
定格インピーダンス .....4 Ω

### ● 電源部

電源電圧/周波数.....AC100V 50/60Hz
定格消費電力 .....60 W
待機電力 .....0.5 W

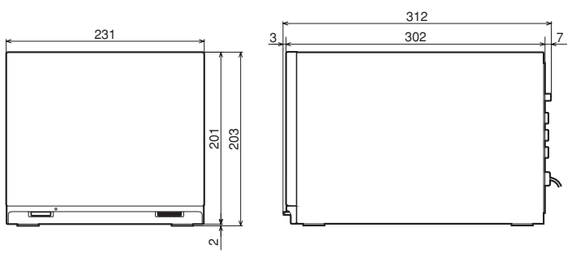
### ● 外形・重量

最大外形寸法
幅..... 231 mm
高さ ..... 203 mm
奥行 ..... 312 mm
質量（重量） ..... 6.2 kg

**【ご注意】**

サランネットは取り外せません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。




単位：mm

# その他

## ■ お手入れ

- セットが汚れた時は柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい時は食器用洗剤を5～6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

## ■ ステレオ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

## ■ 保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。

2. 本体の保証期間はお買い上げ日より1年間です。
お買い上げ販売店又は弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」致します。

3. 保証期間経過後の修理。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8 年間保有しています。

5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所に遠慮なくご相談ください。

6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度“故障とお考えになる前に”をご参照の上よくお調べください。それでも直らない時は、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。

**ご連絡いただきたい内容**

1） 品名　サブウーハー
2） 品番　SW7001
3） お買い上げ日　年　月　日
4） 故障の状況　（できるだけ具体的に）
5） ご住所
6） お名前
7） 電話番号

marantz®

# SW7001 取扱説明書（1/2）

Subwoofer

**マランツのサブウーハーをお買い上げいただき、ありがとうございます。**
**ご使用の前に、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。**
**お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。**
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合わせください。

## ■ 付属品の確認

ご使用の前に下記の付属品が揃っていることをご確認ください。

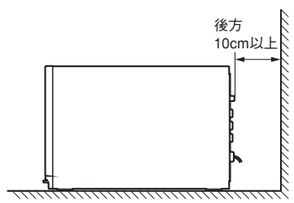
- オーディオケーブル
- サブウーハーコントロール用ケーブル
- 保証書
- 愛用者登録カード
- 取扱説明書(本書)

# ご使用の前に

## ■ 次のような場所には置かない

本機を末永くご使用いただくために、次のような場所には置かないでください。

- 暖房器具など熱を発生する機器に近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- 後面は放熱のため、本機を下図の通りに壁や他の機器等から離して設置してください。




## ■ 上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

## ■ 使用中・使用直後に上面や後面などの高温部には触れない

使用中と使用直後は、操作部以外は高温になっているので手を触れないでください。やけどのおそれがあり危険です。特に上面などの高温部には触れないでください。

## ■ ご使用いただく電源電圧・周波数

- 電源電圧は、交流100V をご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz 地域または 60Hz 地域でご使用できます。

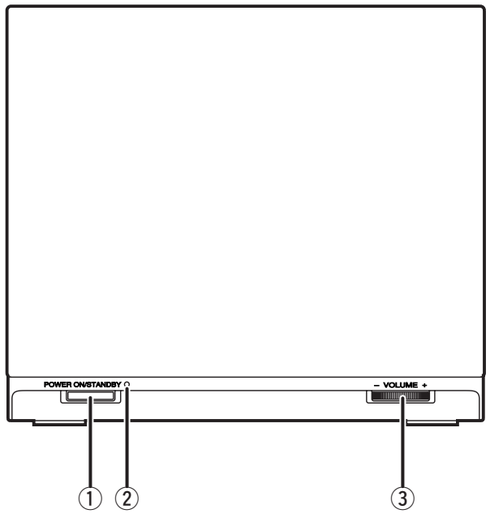

株式会社マランツ コンシューマー マーケティング

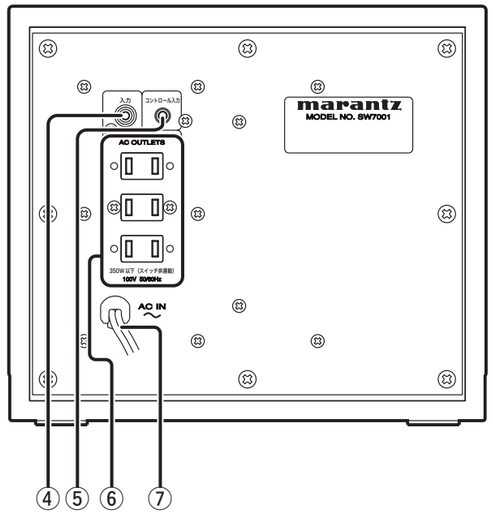
当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。
http://www.marantz.jp

Printed in Malaysia

04/2007 00M38CW851110 mzh-d

# 各部の名称




## ■ 前面部

### ① POWER ON / STANDBY ボタン

電源のオン／待機状態を切り換えるスイッチです。
本機にはオートパワーオン／スタンバイ機能があります。
電源オンのとき、入力端子に音声信号の入力がない場合、数分後に待機状態になります。
また、ES7001 と本機のコントロール入力端子を接続すると、ES7001 の電源オン／待機状態に同期して、本機も電源オン／待機状態になります。

**【ご注意】**

このときオートパワーオン／スタンバイ機能は動作しません。

### ② STANDBY インジケーター

電源の状態を表示するインジケーターです。
電源がオンのとき、緑色のインジケーターが点灯します。
電源が待機状態（STAND BY）のとき、赤色のインジケーターが点灯します。

**【ご注意】**

本機と待機電力は約0.5Wです。ご使用にならないときは電源をオフにすることをおすすめします。

### ③ VOLUME ー／＋ ノブ

音量調整するノブです。
右方向（＋）に回すと音量が大きくなります。

**【ご注意】**

接続したアンプの音量を過大にすると、本機の音質をそこねたり、故障の原因となることがあります。ご使用のときは下記項目にご注意ください。

- 接続したアンプのトーンコントロールやラウドネスコントロールなどで低音域のレベルを大幅にあげた状態で、本機を大音量にしないでください。
- 接続するアンプのスイッチを切り換えるときは、接続するアンプの音量を最小にしてください。

## ■ 背面部

### ④ 入力端子

別売のES7001またはAVアンプのサブウーハーの出力端子を接続する音声信号入力端子です。

### ⑤ コントロール入力端子

別売のES7001のサブウーハーコントロール出力端子と接続するコントロール信号入力端子です。
ES7001の電源オン／待機状態に同期して、本機も電源オン／待機状態になります。

**【ご注意】**

ES7001以外の製品と接続すると故障の原因となります。

### ⑥ AC OUTLET

本機のACアウトレットから別売のES7001やDVDプレーヤー等に電源を供給します。

- 本機のPOWER ON／STANDBYボタンとは無関係に電源を供給します。
- 合計の消費電力350Wまでのオーディオ機器に電源を供給できます。

**【ご注意】**

テレビ、掃除機、ドライヤー等は絶対に接続しないでください。故障の原因となります。

### ⑦ AC電源コード

家庭用コンセントAC100V 50/60Hzに接続してください。

# 接続方法

- ホームシアターシステムES7001と接続する際、本機に付属されたケーブルをご使用ください。
- 接続後サブウーハーの電源をオンにすると、ES7001の電源をオンまたは待機状態にしたとき、連動して本機の電源もオンまたは待機状態になります。（他社市販のサブウーハーは対応しません。）

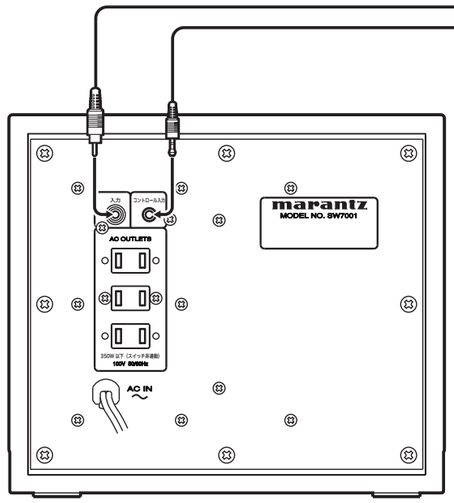
**【ご注意】**

接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

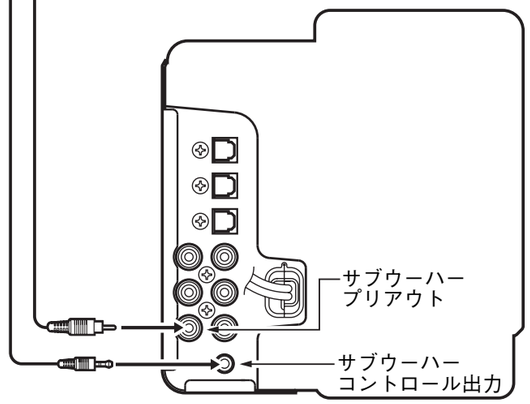
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しするときは、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行なうと、誤作動または破損の原因となります。

## ■ 接続方法

- SW7001の入力端子とES7001のサブウーハープリアウト端子を接続してください。
- SW7001のコントロール入力端子とES7001のサブウーハーコントロール出力端子を接続してください。




SW7001背面部




ES7001右側面部

# 設置のしかた

**【ご注意】**

- 本機を電源プラグをコンセントから容易に抜くことができる位置に設置してください。
- 本機は電源スイッチをOFFにしても電源から完全には遮断されません。電源から完全に遮断する場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ■ サブウーハーの防磁とテレビについて

本機は簡易防磁仕様となっていますが、本機をテレビの近くに設置すると、テレビの画面に色むら等が発生することがあります。その場合は本機をテレビから離して設置してください。

## ■ ハウリングについて

アナログレコードプレーヤーの近くに本機を設置すると、本機の音が設置面や周囲の空気を振動させ、“ボワーン”というハウリング現象が起こることがあります。このような場合、アナログレコードプレーヤーと本機の距離を離すか、本機の音量をさげてお使いください。ごくまれにカセットデッキや、コンパクトディスクプレーヤー、ミニディスクプレーヤー、DVDプレーヤーでもハウリング現象により、音が歪んだり、画像が乱れることがあります。このような場合も、本機との距離を離すか、音量をさげてお使いください。

marantz®

# SW7001 取扱説明書(2/2)

Subwoofer

## 安全上のご注意

【絵表示について】
この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**⚠警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**⚠注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

このような絵表示は禁止の行為であることを告げるものです。

このような絵表示は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

このような絵表示は注意を促す内容があることを告げるものです。

### ⚠警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードを使用しないでください。

- この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れる時は、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 風呂場等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

- この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があけてあります。次のような使い方はしないでください。
  この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。
  この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
  テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。
- この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

# ⚠警告

- ● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

接触禁止

- ● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- ● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

分解禁止

- ● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- ● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

# ⚠注意

- ● オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- ● 電源を入れる前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、テレビ等の音声を本機のスピーカーを使ってお楽しみになる前にも、音量(ボリューム)を最小にしてください。

- ● 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス十とマイナスーの向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ● ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

電源プラグをコンセントから抜く

- ● 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
- ● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- ● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- ● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- ● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ● この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- ● サランネットやダクトに手をかけて持ち運ばないで下さい。落下や転倒により、故障やけがの原因となることがあります。

- ● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- ● 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス十端子とマイナスー端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- ● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

- ● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- ● 耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

- ● この機器の上に物を置かないでください。この機器の上には通気孔があります。通気孔をふさぐと中に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ● この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- ● この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

- ● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- ● 長期間使用しない時は、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

- ● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

高音注意

- ● 使用中および使用直後は、操作部、後面接続端子部以外は高温になっているので手を触れないでください。やけどの恐れがあり、危険です。特に上面など高温部には触れないでください。

Printed in Malaysia 04/2007 00M38CW851120 mzh-d